

# ひこぎ便 No. 64

## 2024. 1月特定非営利活動法人無料塾ひこぎ

### 卒塾式・生徒の挨拶

高校の入学試験が終わって進路が決まった3月に、無料塾ひこぎから旅立つ中学3年生の卒塾式を開きます。そこには、生徒の学習の相手、生活の相談を担ってきた「ひこぎらす」(大学生)や地域のスタッフ、父兄の方も参加します。ケーキを食べる程度のささやかな会ですが、大きな山を越えた後ですから楽しい雰囲気になります。

卒塾生は短い挨拶をしてきて、無料塾ひこぎで過ごした経験、これからの希望などを語ってくれます。それにはスタッフとして胸の打たれるものがあります。その一つ、女子学生の話です。

『自分は学校に行けてなかったが、無料塾ひこぎで勉強できて、高校に入学できた。その学校ではいろいろな資格を取れる。最初に危険物取扱者の資格を取りたい。そのほかにもいろいろな資格に挑戦したい。』

感性豊かな、真面目な性格の子ですから悶悶とした葛藤を経験してきたかもしれません。それを30数名が参加している会合の中で話してくれました。これからはいろいろな矛盾に遭遇するでしょうが乗り越えて行って欲しい、自分にあった人生を見つけて欲しいと思いました。

今年も試験までもう少し、3年生はもうひと頑張り。きっと希望が開けます！

### お知らせ

(石川)

#### ●令和5年度 コープ未来・中央共同募金会の「子ども子育て支援助成」助成金事業

道路側スペースのリフォーム工事が完了しました。

今まで荷物や備品の置き場として使っていたスペースの一部が学習室になりました。それに際し暖房器具のファンヒーターも購入いたしました。

この助成金では他に、複合プリンター・用紙・教材・学生ボランティアの休日活動の交通費

に使わせていただいております。ありがとうございます。

#### ●ひこぎ休塾のお知らせ

2月23日(金) 天皇誕生日)は祝日の為休塾いたします。

●ひこぎ玄関に防犯カメラを設置しました。

# ひこざライン

## むつめ祭巡りの様子

11月24日から三日間、埼玉大学の学園祭である「むつめ祭」が開催されていました。以前ひこざでむつめ祭に塾生と参加したという話があり、また子どもたちからもひこざの皆で参加したいという声を聞きました。そこで、コロナ禍が明けた今子どもたちとお祭りを体験し、塾生間、塾生と学生間の交流を広げ深めることができればとの思いからむつめ祭巡りが企画されました。

## 学生の感想

- ・お小遣いを握りしめて何を食べようかずっと悩んだ結果、皆でおしるこを買っていて和みました。良い思い出になって良かったです。
- ・むつめ祭を通して、普段見ることのできない塾生の姿を見ることができ嬉しかったです。いつもとは違った場で子どもたち同士も交流でき、とてもよい経験になったと思います。私自身もとても楽しかったです。
- ・塾内で見ると子どもたちの様子とは異なる新しい一面がむつめ祭で見ることができ嬉しかったです。みんな仲良く迷子もなく楽しめたと思います。
- ・最初は緊張しましたが、とても楽しい引率となりました。決められたお小遣いの範囲内でやりくりする塾生たちの姿が印象的でした。普段あまり接点のない子ともお話しすることができ、塾生同士の仲も深まったように思います。私にとってもとても楽しい思い出となりました。
- ・自分たちで買いたいものを選んで買ってきただけがとても楽しかったようでした。全員が500円ぴったりお釣りがなく使ってきたので、頑張って計算したのかなと思ひっこりしました。

## 塾生の感想

- ・いろいろなお店があって楽しかった
- ・仮装している人がいて面白かった
- ・上手な歌を聴くことができて楽しかった
- ・大学生が値段を安くしてくれて嬉しかった
- ・広島焼きがおいしかった
- ・イルミネーションが綺麗だった

塾生も学生もみながとても楽しめたようでした。  
来年度もむつめ祭巡りを実行できたらと思います。





《イラスト作 成田 直矢》



## できないには理由がある

(白鯨在住 猪野 愛子)

私は特別支援学級や通級指導教室で児童と関わり、多くの事柄を学ぶことができたが印象に残っている事例を紹介したい。

通級指導教室に通っている児童は、`みんなと同じようにできない`できるのにやらない`さぼっている`と思われることが多い。

私が担当した児童の主訴（一番改善したい態度や状態）は「授業中。椅子を後ろに大きく傾けて座る、整理整頓が苦手（机の脇は学習道具の入った袋が複数掛かり、机の中は配布物や教材でくちゃぐちゃ）、宿題や提出物の期限が守れない、友だちとのトラブルが多い」であった。在籍校では、`困った児童`の様子。

通級指導教室での観察や面談から、この児童には感覚の未発達、読みの苦手さ、認知面での偏りがあることが分かった。

○感覚の未発達・・・体にズシンと来る感覚を求めたり、力の調節が苦手だったりする→椅子を傾けた不安定な状態の方が、物事に集中することができる。文字を書く時に手に力が入りすぎる→一文字書く度に手が痛くなり漢字練習では疲れてしまう。

○読みの苦手さ・・・目の動きがスムーズではない→音読はどこを読んでいるかわからなくなる。

○認知面での偏り・・・本人の意識や考え方に癖がある→整理整頓や友達との付き合い方を自分が良いと思った方法で行う。

本人のやる気のなさやなまけのためにやらなかったのではなく、一生懸命やってもできなかったのである。その後の支援の中では、苦手さを改善するために器具を使ったり、感覚統合の訓練や環境調整を行ったりした。

この事例を通して感じだことは、できないことには理由があること、他の人には有効でけど自分には合わない方法があることだった。

がんばっても出来ないことはちょっと、悔しいこと・・・でも、できるようになる方法は必ずあるはず。自分の苦手気づいたら悩んだり、あきらめたりするのではなく、周囲の人に聞いてみたり、援助を求めたりすることが大切。ひこぎではなしてみよう。相談してみよう。こんな方法はどうかと一緒を考えてくれるのがひこぎのメンバーなのだから。

## 《新刊紹介》

「無料塾という生き方 伝えているのは希望」

小宮 位之（ソシム社）

著者は2012年に「八王子つばめ塾」を立ち上げ、子どもたちに無料で勉強を教え始めました。入塾の条件は3つ ①家庭が経済的に困難である。②ほかの有料塾などに行っていないこと。

③本人に勉強する気があること。塾の役割は「学力・成績を上げ公立高校に合格すること」運営に公的な援助を受けずに、趣旨に賛同する人々からの寄付やボランティア諸師の参加を得ることが出来てNPO法人化しました。

「貧困の連鎖」を断ち切ろうという思いが、自分の地域でも無料塾をつくりたいという人々に伝わり、今、40ぐらいの無料塾が各地に出来ているそうです。

「子どもの幸せな育ち」を願って、そのために何か動きたい、手伝いたい人たちが広がってゆく。それはきぼうですね。

理事 角田

一般社団法人 TRIGGER



赤い羽根福祉募金



コープみらい財団



食卓を笑顔に、地域を豊かに。

「コープみらい×中央共同募金会」  
令和5年度 子ども子育て支援助成金

### 編集後記

年が明けて2024年になりました。新年早々に能登半島地震が起きてしまいました。石川県をはじめとして日本海側の地域などには大きな被害が確認されています。被害にあわれた方々には心からお見舞い申し上げます。

ひこざらすは来年度に向けて運営体制の整備を図っております。体制の変更によって今以上にみなさまの支えとなる活動ができたと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

無料塾「ひこざ」：〒338-0825 さいたま市桜区下大久保8 1 6  
(埼玉大学前)

Tel ・ fax : 048-628-3932

(火・金の 16:00 ~ 20:00 のみ) 新ホームページ

Mail : info@hikoza2014.com

HP : www.hikoza2014.com

ホームページQR





# 赤い羽根共同募金



赤い羽根福祉募金

